◎安全点検

(1) 施設・設備・園外環境(散歩コースや緊急避難先等)・児童への安全点検

月	4 月	5月	6月	7月	8月	9月
重点点検箇所	災害時備蓄品の点検	川遊びエリアの	避難先(私小)		川遊びエリアの	避難先(妙小)
里从从伏道灯	火告时開留吅の息快	整備と安全点検	引渡し場所の点検		整備と安全点検	引渡し場所の点検
月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月
						保護者提出書類の確認
						(個人調査票、緊急時連
重点点検箇所						絡カード、アレルギーチ
						ェックリスト、同意書、
						食物アレルギー・喘息・
						痙攣等に関する調査票)

その他点検のタイミング	内容					
毎日	● 児童の受け入れチェック表にて、《熱・睡眠・朝ごはん・排泄・その他》の確認を実施					
毎日	● 活動後の振り返りにて、ヒヤリハットの共有(詳細は p.5「再発防止策の徹底」参照)					
	● 活動備品の点検(テント、カート、椅子、テーブル等)					
学期ごと(7・12・3月)	● 救急セットの点検と補充					
	● 全児童の姿の振り返り、該当児童の健康管理面の現状確認(アレルギー、喘息、熱性けいれん等)					
	● 川遊びチェックリストにて以下の項目についての確認を実施					
 川遊び実施日(6~9月)	【開始前確認】水位・流れ・濁り・前日の天気および当日の天気予報					
川遊び突爬日(6・ヶ月)	【フィールド確認】ハチの巣・ウルシ系の植物の有無					
	【川遊び中の児童の安全】点呼・給水					
植物園、SORA、ゆうゆうの森の日	● 活動前に管理者に危険個所等の確認を行う					
新規のフィールドにて活動する場合	● 下見チェックリストにて以下の項目について確認を実施					
利がツノイールドにて伯勤する場口	【緊急時】救急車の侵入経路と伝える住所・最寄りの AED 設置場所・携帯電話の電波状況					

【自然環境】天候・現象・生物・災害
【園児の動き】ケガにつながるような箇所・迷子になりそうな場所
【服装】いつもの服装で問題ないかどうか
【活動場所】川・山・社会環境
【施設】焚き火の可否・設備の異常
【季節・気候】熱中症や低体温症の予防や対策

(2) マニュアルの策定・共有 ★の内容は「安全管理マニュアル」に含まれています

分野	策定	時期		見直し(再	点検)予定	時期	掲示・管理場所
重大事故防止マニュアル★	2023年	4月	一日	2024年	2~3 月	- 日	「安全管理マニュアル」を全職員に配布
□_午睡	年	月		年一	月		
□ 食事	2023 年	6月	12 日	2024 年	2~3 月	一日	「安全管理マニュアル(食べ物編)」を全職員に配布
□ プール・水遊び	2023 年	6月	3 日	2024年	5月	-∃	「川遊び 安全に向けての取り組み」を全職員に配布
□ 園外活動★	年	月	日	年	月	Ħ	
────────────────────────────────────	年	月		年一	月		
□-降雪(※必要に応じ策定)	年	月		年一	月		
災害時マニュアル★	年	月	目	年	月	目	
119番対応時マニュアル★	年	月	目	年	月	目	
救急対応時マニュアル★	年	月	目	年	月	目	
不審者対応時マニュアル★	年	月	日	年	月	日	

- ◎児童・保護者に対する安全指導等
- (1) 児童への安全指導(認可外保育施設の生活における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全等)

	4~6 月	7~9月	10~12 月	1~3月
	◎活動のおやくそく確認 (随時)	◎活動のおやくそく確認 (随時)	◎活動のおやくそく確認 (随時)	◎活動のおやくそく確認(随時)
	4月 集合訓練(植物園)	7月 集合訓練(天野川)	10月 施設内での避難訓練(地震)	1月 集合訓練(不審者)
	5月 集合訓練(植物園)	9月 集合訓練 (その他)	11月 施設内での避難訓練(火災)	2月 集合訓練(山)
	6月 集合訓練 (その他)		12 月 施設内での避難訓練(不審	3月 集合訓練(年長児が卒園後に
3歳以上児	6月 からだのお話し会(性教育)		者)	在園児のみで実施)
7,000				
	※6~9月 川遊びの日は朝の会	L でおやくそくを確認		
	※5~9月 熱中症予防の為、絵	カードを使った給水推進キャンペー		
	ンを実施			

(2) 保護者への説明・共有 ※毎月配布の「いしころだより」内【ご家庭へのお願いと連絡】欄も活用

4~6 月	7~9月	10~12 月	1~3月
4月 自転車のヘルメット着用の注	7月 お弁当の保冷剤のお願い/熱	10 月 寒暖差による体調への影	1月 お弁当の窒息予防の注意喚起
意喚起/安全管理上の服装につい	中症予防の注意喚起	響・食事と睡眠・体調管理のお願	3月体温調節しやすい服装のお願い/
ての再確認	9月 引き渡し訓練 (大地震・妙小)	い/お弁当の保冷剤のお願い	入園進級オリエンテーションの実施
5月 からだのお話し会(性教育)	171 災害時伝言ダイヤルの実施/	11 月 体調管理のお願い/体温調	「ようちえん組のしおり」を配布し、安全管理
の実施/お弁当の保冷剤のお願い	熱中症予防の注意喚起	節しやすい服装のお願い	面などの説明
/安全管理上の長靴着用のお願い		12 月 保護者座談会の実施/体温	
6月 引き渡し訓練 (大地震・私小)		調節しやすい服装のお願い	
171 災害時伝言ダイヤルの実施/			
熱中症予防の注意喚起(水・塩)			
/保護者座談会の実施			

◎訓練・研修

(1)訓練のテーマ・取組(児童および職員で実施)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
避難 訓練等 ※ 1	集合訓練(植物園)	集合訓練(植物園)	集合訓練(その他)	集合訓練(天野川)		集合訓練(その他)
その他 ※ 2						
月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月
避難 訓練等 ※ 1	施設内での避難訓練 (地震)	施設内での避難訓練 (火災)	施設内での避難訓練 (不審者)	集合訓練(不審者)	集合訓練(山)	集合訓練(在園児)
その他 ※ 2						

- ※1 「避難訓練等」・・・認可外保育施設指導監督基準第3の1 (2) の規定に基づき定期的に実施する避難及び消火に対する訓練
- ※2 「その他」・・・「避難訓練等」以外の 119 番通報、救急対応(心肺蘇生法、気道内異物除去、AED・エピペン®の使用等)、不審者対応、送迎バスにおける 見落とし防止等

(2) 訓練の参加予定者(全員参加を除く。)

訓練内容	参加予定者
避難訓練等	当日出席している児童および出勤している職員

(3)職員への研修・講習〈園内実施・外部実施を明記〉※保護者と共に行うものは p3 (2)、児童と共に行うものは p4 (1) に記載

4~6 月	7~9 月	10~12 月	1~ 3 月
6月 野外救急講習〈園内実施〉	8月 森のようちえん安全講座〈外部	12月 野外救急講習〈園内実施〉	2~3 月 消防署での救命講習(上級/
	実施〉		普通)〈外部実施〉
	8月 園内研修〈園内実施〉		

(4)行政等が実施する訓練・講習スケジュール ※所属する自治体・関係団体等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目途にかかわらずメモする

8/26・27 森のようちえん安全講座

- ◎再発防止策の徹底(ヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策とその共有の方法等)
 - ●Messenger グループ「ヒヤリハット」の活用

日々の活動のなかで遭遇した事象を投稿していく。

A: 危ないことが起こったが、幸い災害には至らなかった事象

B: 今後、危ないことが起こりそうだ、と感じた事象

C: 周知しておきたい事象

●ヒヤリハット登録フォームの活用

活動後のふりかえりで、「文書化して保管・管理する必要がある」と判断されたものを登録する。判断基準は、A は全て。B は即時解決が難しく、スタッフで共有が必要なもの、とする。

※Bで登録不要の例…ある程度の観察が必要なもの、即時解決が可能なもの。

毎週の(月)ミーティングで、ヒヤリハット登録事象を全スタッフで共有。

● 事故報告シートの運用

以下の事案は「08 2 様式第 4 号事故等報告様式」(以下、事故報告シート) に記入

※事故報告シートはマイドライブ>安全管理に保存

D:軽傷(一歩間違えたら死亡や重傷事故につながる恐れのあるもの)

E:ヘビ・ハチ・マダニなどの害のある生物に噛まれたり刺された場合

F: 熱中症

G:食中毒

H:重傷(全治1ヶ月以上・経過観察も含む)

I : 死亡事故

《運用のながれ》

- 1) 事故を最も知るスタッフが中心となって事故報告シートに入力
- 2) 理事ミーティングにて、事故報告をもとに事故状況の共有、事故分析、必要に応じて事故後の報告や対応について話し合う。

【対応の優先順位】

- ① 当事者保護者
- ②その他保護者
- ③行政(G・H・I については大阪府に報告必要)
- ④その他(全国ネットワーク連盟・SNS)
- 3) 2の決定事項をようちえんスタッフへ共有
- 4) 2で話し合った内容に沿って、事故後の報告・対応の実施
- ◎その他の安全確保に向けた取組(地域住民や地域の関係者と連携した取組、登降園管理システムを活用した安全管理等)
 - 保護者提出書類…個人調査票、緊急時連絡カード、アレルギーチェックリスト、食物アレルギー・喘息・痙攣等に関する調査票(該当者のみ)
 - スタッフ携帯品…ホイッスル、予備水、救急バッグ
 - フィールドの下見…下見チェックシートを活用し、情報を共有。日常的に使用するフィールドは活動中にもリスクの予知・予測を積極的に行う。
 - 年2回の引き渡し訓練にて災害時伝言ダイヤル 171 を利用
 - 大災害への備え(備蓄)…非常食(人数分)、水 500ml×24 本、おせんべい(5 年保存)、氷砂糖、アルミシート、新聞紙、軍手、ビニール袋、ガムテー

プ、懐中電灯、電池

● 気象情報サイトを活用…気象庁公式サイト、ウェザーニュース、Yahoo 天気・災害、活動の雷情報については「関西電力送配電㈱」の雷情報